



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場会社名 富士機械製造株式会社
コード番号 6134 URL <http://www.fuji.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部本部長 (氏名) 加藤 正樹

TEL 0566-81-2111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	48,320	216.5	10,847	—	10,452	—	5,815	—
22年3月期第2四半期	15,266	△71.1	△4,923	—	△4,722	—	△5,132	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	118.97	—
22年3月期第2四半期	△104.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
23年3月期第2四半期	129,195	75.1	97,026	75.1			1,984.89	
22年3月期	121,048	77.3	93,521	77.3			1,913.16	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 97,026百万円 22年3月期 93,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	17.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	108.4	17,000	—	16,500	—	9,500	—	194.34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 48,911,874株 22年3月期 48,911,874株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 29,123株 22年3月期 28,523株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 48,883,024株 22年3月期2Q 48,884,621株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】3ページ(3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成23年3月期の個別業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	113.4	16,000	—	15,500	—	8,400	—	171.84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直し等により緩やかな景気回復の兆しが見られましたが、急激な円高の進行等により設備投資意欲が鈍ってきており、先行き不透明な状況が続いております。また、世界経済は、欧米では景気悪化の懸念が継続している一方、中国をはじめとした新興国においては政府の景気刺激策等により好調に推移いたしました。

このような環境のなかで、当グループは価格競争力のある差別化製品の遅滞なき開発や次世代技術の探求を推進してまいりました。また、国内外の販売網やサービス網の強化による顧客満足度の向上ならびにマーケットシェアの拡大を図り、生産量の急激な変動に対応できる生産体制の構築に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は48,320百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて33,054百万円(216.5%)増加いたしました。また、営業利益は10,847百万円(前年同四半期:営業損失4,923百万円)、経常利益は10,452百万円(前年同四半期:経常損失4,722百万円)、四半期純利益は5,815百万円(前年同四半期:四半期純損失5,132百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 電子部品組立機

携帯電話・スマートフォン・タブレットPC・薄型テレビ等のエレクトロニクス業界の旺盛な需要に支えられ、当グループの主要顧客である大手電子機器メーカー・大手EMS(電子機器受託生産企業)等の設備投資が堅調に推移したことにより、売上高は45,510百万円となり前第2四半期連結累計期間に比べて31,574百万円(226.6%)増加し、営業利益は13,031百万円(前年同四半期:営業損失2,181百万円)となりました。

2) 工作機械

工作機械業界全体としましては国内外の需要が回復基調で推移しているものの、当グループの主要顧客である自動車業界からの需要は一部海外を除き引き続き厳しい状況で推移いたしました。この結果、売上高は2,527百万円となり前第2四半期連結累計期間に比べて1,384百万円(121.2%)増加したものの、営業損益は830百万円の損失(前年同四半期:営業損失1,444百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態につきましては、連結総資産合計は売掛金・たな卸資産の増加等により前連結会計年度末と比べて8,146百万円増加し129,195百万円となりました。また、連結負債合計は未払法人税等の増加等により前連結会計年度末と比べて4,641百万円増加し32,168百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて2,691百万円増加し54,019百万円となりました。なお、これには当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物に係る換算差額のマイナスの影響額1,002百万円が含まれております。

営業活動によるキャッシュ・フローは5,148百万円の収入(前年同四半期:8,861百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益等のプラス要因が売上債権の増加、たな卸資産の増加等のマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは963百万円の支出(前年同四半期:2,164百万円の支出)となりました。これは主に無形固定資産取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは490百万円の支出(前年同四半期:1,989百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の実績を踏まえて通期業績予想を見直した結果、平成22年8月13日に公表いたしました通期の連結業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	88,000	15,500	15,300	9,200	188.20
今回発表予想(B)	87,000	17,000	16,500	9,500	194.34
増減額(B-A)	△1,000	1,500	1,200	300	—
増減率(%)	△1.1	9.7	7.8	3.3	—
前期実績(平成22年3月期)	41,747	△6,212	△5,842	△4,828	△98.78

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
繰延税金資産の回収可能性の判断	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められますので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) たな卸資産の評価方法</p> <p>第1四半期連結会計期間より、たな卸資産の評価方法を主として総平均法及び最終仕入原価法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）から主として個別法及び移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。</p> <p>また、製造活動に該当する範囲を明確化し、原材料と仕掛品の計上区分を見直したことに伴い、従来、原材料及び貯蔵品として表示していたものの一部を仕掛品として表示しております。</p> <p>これらの変更は、当社の原価計算システムが稼動したことを契機に、期間損益計算及び財政状態の開示をより適正に行うためのものであります。</p> <p>この結果、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ65百万円減少しております。また、四半期連結貸借対照表において、仕掛品が6,437百万円増加し、原材料及び貯蔵品が同額減少しております。</p> <p>(2) 資産除去債務に関する会計基準の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。</p> <p>これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は58百万円減少しております。</p>

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,801	47,134
受取手形及び売掛金	18,411	14,516
有価証券	—	5,000
商品及び製品	4,129	2,947
仕掛品	10,753	2,460
原材料及び貯蔵品	7,680	12,895
その他のたな卸資産	40	40
その他	3,976	4,838
貸倒引当金	△15	△70
流動資産合計	99,777	89,764
固定資産		
有形固定資産	13,995	14,376
無形固定資産	3,281	2,735
投資その他の資産		
投資有価証券	10,092	12,242
その他	2,047	1,929
投資その他の資産合計	12,140	14,171
固定資産合計	29,417	31,283
資産合計	129,195	121,048
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,862	3,949
1年内償還予定の社債	6,469	5,000
未払法人税等	2,117	119
製品保証引当金	877	818
その他	6,271	4,463
流動負債合計	20,598	14,350
固定負債		
社債	8,531	10,000
退職給付引当金	2,975	3,175
その他	63	—
固定負債合計	11,570	13,175
負債合計	32,168	27,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	87,998	82,671
自己株式	△44	△43
株主資本合計	99,246	93,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130	694
為替換算調整勘定	△2,349	△1,093
評価・換算差額等合計	△2,219	△398
純資産合計	97,026	93,521
負債純資産合計	129,195	121,048

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	15,266	48,320
売上原価	13,738	28,696
売上総利益	1,527	19,623
販売費及び一般管理費	6,451	8,775
営業利益又は営業損失(△)	△4,923	10,847
営業外収益		
受取利息	136	78
受取配当金	134	111
法人税等還付加算金	102	—
雑収入	94	110
営業外収益合計	468	300
営業外費用		
支払利息	110	96
支払手数料	22	—
為替差損	122	568
雑支出	10	31
営業外費用合計	267	695
経常利益又は経常損失(△)	△4,722	10,452
特別利益		
固定資産処分益	26	90
投資有価証券売却益	21	—
特別利益合計	48	90
特別損失		
固定資産処分損	21	71
減損損失	269	—
投資有価証券評価損	46	1,202
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	58
その他	—	8
特別損失合計	338	1,340
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,013	9,202
法人税、住民税及び事業税	25	2,051
法人税等調整額	93	1,335
法人税等合計	119	3,386
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,815
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,132	5,815

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,013	9,202
減価償却費	1,120	1,073
退職給付引当金の増減額(△は減少)	809	△200
受取利息及び受取配当金	△270	△190
支払利息	110	96
固定資産処分損益(△は益)	△4	△18
投資有価証券評価損益(△は益)	46	1,202
売上債権の増減額(△は増加)	△233	△4,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,306	△4,592
仕入債務の増減額(△は減少)	58	1,143
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,301	△570
その他	△156	1,797
小計	5,075	4,918
利息及び配当金の受取額	270	190
利息の支払額	△114	△95
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	3,629	134
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,861	5,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,153	△1,200
有形及び無形固定資産の売却による収入	135	200
投資有価証券の取得による支出	△241	—
定期預金の預入による支出	△186	△208
定期預金の払戻による収入	218	233
その他	62	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,164	△963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,500	—
配当金の支払額	△489	△489
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,989	△490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△704	△1,002
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,002	2,691
現金及び現金同等物の期首残高	48,561	51,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,564	54,019

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

a. 事業の種類別セグメント情報

	電子部品 組立機事業 (百万円)	工作機械事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,936	1,142	187	15,266	—	15,266
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	91	91	(91)	—
計	13,936	1,142	278	15,357	(91)	15,266
営業損失(△)	△2,181	△1,444	△167	△3,793	(1,130)	△4,923

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 電子部品組立機事業 電子部品自動装着機
- (2) 工作機械事業 自動旋盤、専用機
- (3) その他の事業 制御機器、電子基板受託生産、ソフトウェア開発

b. 所在地別セグメント情報

	日本 (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,714	2,591	901	58	15,266	—	15,266
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,562	0	31	99	2,693	(2,693)	—
計	14,277	2,591	932	157	17,959	(2,693)	15,266
営業利益又は営業損失(△)	△3,895	△208	36	37	△4,030	(893)	△4,923

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北アメリカ：アメリカ
- (2) ヨーロッパ：ドイツ
- (3) アジア：中国

c. 海外売上高

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,568	1,075	9,677	534	13,855
II 連結売上高(百万円)					15,266
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	16.8	7.1	63.4	3.5	90.8

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北アメリカ：アメリカ、メキシコ等
- (2) ヨーロッパ：ドイツ、ポーランド等
- (3) アジア：中国、ベトナム等
- (4) その他の地域：ブラジル等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントの概要

当グループの報告セグメントは、当グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当グループは、当社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当グループは事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、電子部品組立機事業及び工作機械事業の2つを報告セグメントとしております。

電子部品組立機事業は、主に電子部品自動装着機を生産しております。工作機械事業は、主に自動旋盤及び専用機を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)	合計 (百万円)
	電子部品組立機 (百万円)	工作機械 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	45,510	2,527	48,038	281	48,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	823	823
計	45,511	2,527	48,038	1,104	49,143
セグメント利益又は損失(△)	13,031	△830	12,201	△17	12,183

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板受託生産及びソフトウェア開発等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	12,201
その他の区分の損失(△)	△17
セグメント間取引消去	12
全社費用	△1,348
四半期連結損益計算書の営業利益	10,847

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

区分	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	15,830	94.7	13,936	91.3	2,992	71.4
工作機械	636	3.8	1,142	7.5	1,072	25.6
その他	249	1.5	187	1.2	124	3.0
合計	16,716	100.0	15,266	100.0	4,189	100.0

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

区分	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	46,031	92.0	45,510	94.2	11,064	77.7
工作機械	3,721	7.4	2,527	5.2	3,062	21.5
その他	302	0.6	281	0.6	108	0.8
合計	50,055	100.0	48,320	100.0	14,235	100.0

前連結会計年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

区分	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	48,132	93.4	38,687	92.7	10,543	84.3
工作機械	2,884	5.6	2,594	6.2	1,868	15.0
その他	492	1.0	465	1.1	88	0.7
合計	51,509	100.0	41,747	100.0	12,501	100.0

(2) 地域に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	日本	中国	他アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	2,630	26,733	7,887	5,367	4,439	1,262	48,320
構成比(%)	5.5	55.3	16.3	11.1	9.2	2.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

平成23年3月期 第2四半期決算発表

平成22年11月11日
富士機械製造株式会社
(コード番号 6134 名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)
(単位：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期連結累計期間実績	48,320 (216.5%)	10,847 (-%)	10,452 (-%)	5,815 (-%)
通期予想	87,000 (108.4%)	17,000 (-%)	16,500 (-%)	9,500 (-%)

(注) カッコ書きは対前年同期増減率であります。

2. 当期の個別売上高・収益の第2四半期累計期間実績と通期予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)
(単位：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計期間実績	46,076 (227.8%)	10,214 (-%)	9,907 (-%)	5,098 (-%)
通期予想	83,000 (113.4%)	16,000 (-%)	15,500 (-%)	8,400 (-%)

(注) カッコ書きは対前年同期増減率であります。

3. 当期の連結受注高・売上高の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)
(単位：百万円未満切捨)

区分	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間実績	通期予想	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
電子部品組立機	46,031	82,000	45,510	81,000
工作機械	3,721	6,500	2,527	5,500
その他	302	500	281	500
合計	50,055	89,000	48,320	87,000

4. 当期の主な科目の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)
(単位：百万円未満切捨)

科目	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
設備投資額	1,537	3,000
減価償却実施額	1,073	2,000
研究開発費	2,928	6,200